

# H27 : New P J (リスク職能教育プロジェクト) 学習会報告書

## テーマ : 5年目の福島～食と農の現場をつなぐ

報告者 一般社団法人 札幌消費者協会 小山里美

報告日時	平成 27 年 8 月 12 日
開催日時	平成 27 年 8 月 4 日 (火) 12 : 30~15 : 30
開催場所	北海道大学農学部 食資源研究棟 3 階 セミナー室 F 318 (札幌市北区北 9 条西 9 丁目)
第 1 回テーマ	農地と農作物はどうなったか
講師	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター福島研究拠点農業放射線研究センター長 信濃 卓郎 氏
仕組	学習会付き意見交換会

開 催 内 容	<p>H27 シリーズ学習会の 1 回目は、新設された北海道大学農学部食資源研究棟で行われ、コメンテーター 1 名、食味テスター 12 名、食と健康を考える研究会 5 名の参加者と、ファシリテーター 7 名と、実行委員 3 名、リスコミメンバー 3 名が出席した。</p> <p>前半は、講師の話と Q &amp; A、講師から今後の課題 4 つのシナリオがだされた。</p> <p>後半は、18 名の参加者とファシリテーター 7 名が、A、B、C、D の 4 グループに分かれ、講師から出された今後の課題 4 つのシナリオをもとに、各グループで意見交換し質問をまとめ発表。講師からの返答と質問を繰り返し、4 つのシナリオに各自投票後、グループ毎に発表。</p> <p><b>【講師の話】</b></p> <p>福島の農地と農作物の現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・放射性物質の除去方法と結果報告</li><li>放射性物質の除去の限界</li><li>・除去を継続する場合のコスト問題</li><li>・除去した土や除染に使った水の対処問題</li></ul> <p>物理学的半減期 (セシウム 134 は 2 年、セシウム 137 は 30 年) とこれからを考える</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産者 何十代も続く農家の歴史と農産物の土地と風土・自然を絶やしたくない 続けられている農産物の自費検査</li><li>・住民 残る人、去らざるをえない人、苦汁の日々 支援の継続は?</li><li>・購入者 誤った知識と見えない安全に迷わされる</li><li>・研究者 先を見据えた取り組みと研究 行政の指針と予算が鍵?</li><li>・行政 これからの賠償金はどうなるか</li></ul> <p>次回、第 2 回学習会は 9 月 4 日 (金)、同時間帯で同場所、テーマは「海はどうなったか」です。</p>
------------------	---